

058 狭い門 他(山上の説教Ⅷ)

マタイによる福音書 7 : 13～29、ルカ 6 : 43～44、6 : 47～49、13 : 24～27

▶狭い門 (マタイによる福音書 7 : 13～14)

「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 4 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
S ルカによる福音書	11:9 そこで、わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。	
S ヨハネによる福音書	10:7 イエスはまた言われた。「はっきり言うておく。わたしは羊の門である。	
S ヨハネによる福音書	10:9 わたしは門である。わたしを通して入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つける。	
S ヨハネによる福音書	14:6 イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。	

【参考】日本の城の門 表門：大手門・追手門（おおてもん）、裏門：搦手門

▶実によって木を知る (マタイによる福音書 7 : 15～20)

「偽預言者を警戒しなさい。彼らは羊の皮を身にまとしてあなたがたのところに来るが、その内側は貪欲な狼である。あなたがたは、その実で彼らを見分ける。茨からぶどうが、あざみからいちじくが採れるだろうか。すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。良い木が悪い実を結ぶことはなく、また、悪い木が良い実を結ぶこともできない。良い実を結ばない木はみな、切り倒されて火に投げ込まれる。このように、あなたがたはその実で彼らを見分ける。」

【参考】聖書にある火に関する聖句①

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 8 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K 申命記	7:25 彼らの神々の像は火に投じて焼きなさい。それにかぶせてある銀や金に目を奪われて、それを取っておくことがあってはならない。あなたがその罠に陥ることがないためである。それは、あなたの神、主のいとわれることである。	
K 申命記	9:21 また、あなたたちの罪、あなたたちが造った子牛を取り上げて火に投じ、粉々に砕いて塵とし、その塵を山から流れる川に投げ捨てた。	
K 列王記下	19:18 その神々を火に投げ込みましたが、それらは神ではなく、木や石であって、人間が手で造ったものにすぎません。彼らはこれを滅ぼしてしまいました。	
K イザヤ書	37:19 その神々を火に投げ込みましたが、それらは神ではなく、木や石であって、人間が手で造ったものにすぎません。彼らはこれを滅ぼしてしまいました。	
K エレミヤ書	22:7 わたしは滅ぼす者を聖別し／おのおの武器を手にしてあなたを攻めさせる。彼らはあなたの最上のレバノン杉を切り倒し／火に投ずる。	
K 哀歌	1:13 主は高い天から火を送り／わたしの骨に火を下し／足もとに網を投げてわたしを引き倒し／荒廃にまかせ、ひねもす痛み衰えさせる。	
K エゼキエル書	15:6 それゆえ、主なる神はこう言われる。わたしが薪として火に投げ込んだ、森の木の中のぶどうの木のように、わたしはエルサレムの住民を火に投げ入れる。	
K ダニエル書	7:11 さて、その間にもこの角は尊大なことを語り続けていたが、ついにその獣は殺され、死体は破壊されて燃え盛る火に投げ込まれた。	

【参考】聖書にある火に関する聖句②

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 7 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
S マタイによる福音書	3:10 斧は既に木の根元に置かれている。良い実を結ばない木はみな、切り倒されて火に投げ込まれる。	
S マタイによる福音書	5:22 しかし、わたしは言うておく。兄弟に腹を立てる者はだれでも裁きを受ける。兄弟に『ばか』と言う者は、最高法院に引き渡され、『愚か者』と言う者は、火の地獄に投げ込まれる。	
S マタイによる福音書	7:19 良い実を結ばない木はみな、切り倒されて火に投げ込まれる。	
S マタイによる福音書	18:8 もし片方の手か足があなたをつまずかせるなら、それを切って捨ててしまいなさい。両手両足がそろったまま永遠の火に投げ込まれるよりは、片手片足になっても命にあずかる方がよい。	
S マタイによる福音書	18:9 もし片方の目があなたをつまずかせるなら、えぐり出して捨ててしまいなさい。両方の目がそろったまま火の地獄に投げ込まれるよりは、一つの目になっても命にあずかる方がよい。」	
S ルカによる福音書	3:9 斧は既に木の根元に置かれている。良い実を結ばない木はみな、切り倒されて火に投げ込まれる。」	
S ルカによる福音書	12:49 「わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである。その火が既に燃えていたらと、どんなに願っていることか。	

【参考】聖書にある火に関する聖句③

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 5 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
S ヨハネによる福音書	15:6 わたしにつながっていない人がいれば、枝のように外に投げ捨てられて枯れる。そして、集められ、火に投げ入れられて焼かれてしまう。	
S ヨハネの黙示録	19:20 しかし、獣は捕らえられ、また、獣の前でしるしを行った偽預言者も、一緒に捕らえられた。このしるしによって、獣の刻印を受けた者や、獣の像を拝んでいた者どもは、惑わされていたのであった。獣と偽預言者の両者は、生きたまま硫黄の燃えている火の池に投げ込まれた。	
S ヨハネの黙示録	20:10 そして彼らを惑わした悪魔は、火と硫黄の池に投げ込まれた。そこにはあの獣と偽預言者がいる。そして、この者どもは昼も夜も世々限りなく責めさいなまれる。	
S ヨハネの黙示録	20:14 死も陰府も火の池に投げ込まれた。この火の池が第二の死である。	
S ヨハネの黙示録	20:15 その名が命の書に記されていない者は、火の池に投げ込まれた。	

▶あなたたちは知らない (マタイによる福音書 7 : 21~23)

「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入るのである。 **かの日**には、大勢の者がわたしに、『主よ、主よ、わたしたちは御名によって預言し、御名によって悪霊を追い出し、御名によって奇跡をいろいろ行ったではありませんか』と言うであろう。そのとき、わたしはきっぱりとこう言おう。『あなたたちのことは全然知らない。不法を働く者ども、わたしから離れ去れ。』」

→かの日

人がどのように生きたかを審査し、神に忠実であったかどうかを神が審判を下す、キリストの裁きの座の時を指す(コリントの信徒への手紙一 3:13、4:5、コリントの信徒への手紙二 5:10)。

→コリントの信徒への手紙一 3 : 13

おのおのの仕事は明るみに出されます。かの日にそれは明らかにされるのです。なぜなら、かの日が火と共に現れ、その火はおのおのの仕事がどんなものであるかを吟味するからです。

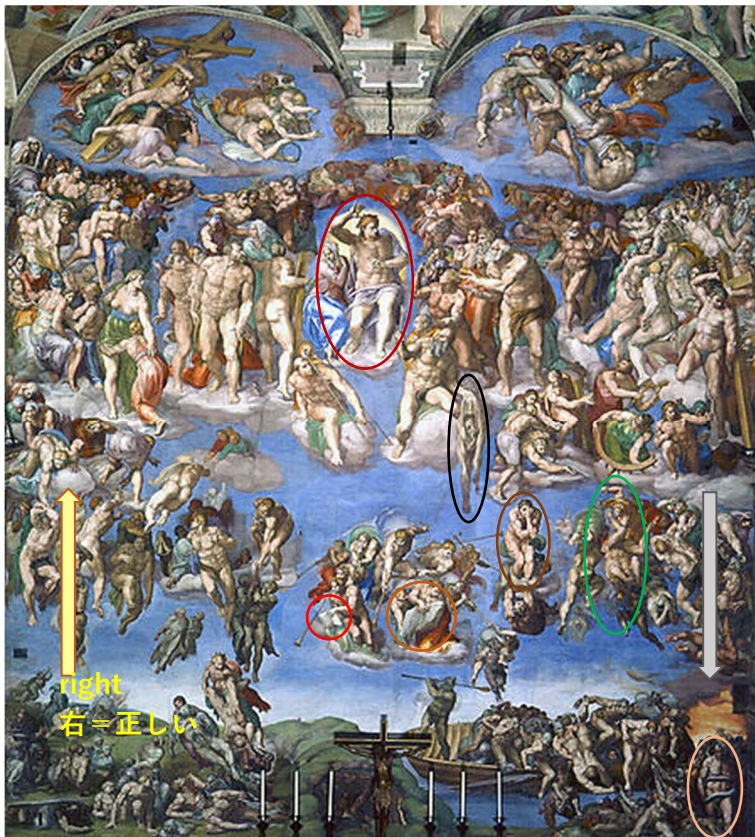
→コリントの信徒への手紙一 4：5

ですから、主が来られるまでは、先走って何も裁いてはいけません。主は闇の中に隠されている秘密を明るみに出し、人の心の企てをも明らかにされます。そのとき、おのおのは神からおほめにあずかります。

→コリントの信徒への手紙二 5：10

なぜなら、わたしたちは皆、キリストの裁きの座の前に立ち、善であれ悪であれ、めいめい体を住みかとしていたときに行ったことに応じて、報いを受けねばならないからです。

【参考】最後の審判(ミケランジェロ)



バチカン宮殿のシスティーナ礼拝堂の祭壇に描かれたフレスコ画である。

作者：ミケランジェロ・ブオナローティ
製作年：1536～1541年

種類：フレスコ

寸法：1370 cm × 1200 cm

所蔵：バチカン、システィーナ礼拝堂
400名以上の人物が描かれ、

●中央では再臨した力強いイエス・キリスト（3m位）がダイナミックな動きで人間たちには裁きを下そうとしている（まだ、最後の言葉は発せられていない）。

●人間の皮（ミケランジェロの自画像）
→バルトロマイが持っている。

●天使が天国の鍵と金の詰まった袋を持つ悪人（＝強欲な聖職者）を殴り飛ばしている。

●自らの罪に怯えている人

●天国行きの名簿 ●地獄行きの名簿
→地獄行きの名簿が大きく描かれ、それだけ地獄へ行く人が多い。

●地獄のミノス：地獄の門番で、顔はローマ教皇庁儀典長ビアジオ・ダ・チェゼーナ（ミケランジェロがひどく嫌っていた人物）である。

∵群像に裸体が多く描かれていることから、公式行事の準備を所管する儀典長ビアジオ・ダ・チェゼーナがこれを非難し、「着衣をさせよ」という勧告が出した。ミケランジェロはこれを怨んで、地獄の門番ミノスに自分の芸術を理解しなかった儀典長を描いたとされている。この件に対して儀典長がローマ教皇パウルス3世に抗議したところ、「煉獄はともかく、地獄では私は何の権限も無い」と冗談交じりに受け流された。

向かって左側には天国へと昇天していく人々が、右側には地獄へと堕ちていく人々が描写されている。右下の水面に浮かんだ舟の上で、亡者に向かって櫂を振りかざしているのは冥府の渡し守カローン※1で、この舟に乗せられた死者は、アケローン川※2を渡って地獄の各階層へと振り分けられていくという。ミケランジェロはこの地獄風景を描くのに、ダンテの『神曲』地獄篇のイメージを描いた。

※1：カローン（カロン）：ギリシア神話に登場する神に準ずる存在で、冥界の河ステュクス（憎悪）あるいはその支流アケローン川（悲嘆）の渡し守。エレボス（闇）とニュクス（夜）の息子。

※2：アケローン川：ギリシア北西部のイピロス地方を流れる川。アケローンは「嘆きの川」「苦悩の川」と訳すことができ、古代ギリシア神話では渡し守のカローン※1が死者の魂を冥界ハーデスへと渡す、地下世界の川ステュクス（ギリシア神話において、地下を流れているとされる大河）の支流と信じられた。

【参考】 ミケランジェロの言葉

人の後を追う者は決して新しい境地を切り開くことはできない。そして創造することを諦めた者は他の優れた作品から何も得ることはできない。

はるかな高みに目標を仰ぎ見よ。取るに足らぬ目標を達成し、故に甘んじてしまうことこそ、私は強く危ぶむのである。

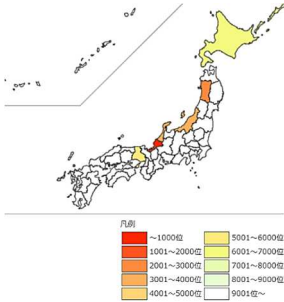
▶家と土台（マタイによる福音書 7：24～29）

「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。わたしのこれらの言葉を聞くだけで行わない者は皆、砂の上に家を建てた愚かな人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家に襲いかかると、倒れて、その倒れ方がひどかった。」

イエスがこれらの言葉を語り終わられると、群衆はその教えに非常に驚いた。彼らの律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになったからである。

【余談】 名字「小道」「細道」「狭道」他(参考:名字由来 net)

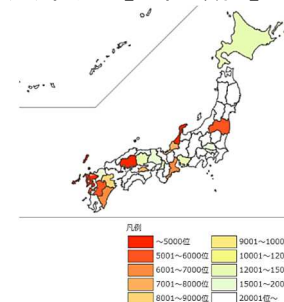
(1)小道 【全国順位】 13,293 位、【全国人数】 およそ 460 人



→小路(しょうじ、こうじ、おろ、こすじ、こみち、こおじ、こじ、しょうぢ、こぢ、ころ、おぢ、おじ、おみち、おのじ)

【全国順位】 2,032 位、【全国人数】 およそ 7,500 人

(2)細道 【全国順位】 17,138 位、【全国人数】 およそ 300 人



→細路(ほそぢ) 【全国順位】 62,176 位、【全国人数】 およそ 20 人(静岡市駿河区)

(3)狭道／狭路 該当者なし